

青年海外協力隊「現職教員特別参加制度」派遣教員レポート（平成23年8月分）

氏名：田村陽子（広島県立広島北特別支援学校）  
現地勤務先：キト市役所教育課

○平成23年4月～7月の出来事

平成23年8月第1号

## Gracias!（スペイン語でありがとう!）

みなさん、はじめまして。青年海外協力隊「養護」の分野で、エクアドルに派遣されています田村陽子です。3月まで、広島県立広島北特別支援学校で働いていました。

4月から6月は、長野県の駒ヶ根市にあるJICAの施設で65日間の訓練を受け、今はエクアドルの首都キト市役所の教育課で働いています。これから、エクアドルの様子を2年間紹介していきたいと思っていますので、皆さん楽しみにしてくださいね。

今回は、訓練の様子を少しと、私が今生活しているエクアドルの紹介をします。



← 訓練を受けた長野県の駒ヶ根市は、自然がいっぱいでとてもきれいな町です。研修では、毎日5時間の語学と、2時間の国際協力や安全等に関する講義を受けました。

↓ 派遣先のエクアドルの公用語はスペイン語です。スペイン語のクラスは、1クラス6人です。5月には、スペイン語で指導案を書き、それぞれの分野の授業をしました。私は、自立活動でしていたフィンガーペインティング（指や手に絵の具をつけて絵を描くこと）の授業をしました。



↑ エクアドルと一緒に派遣されたメンバーは7人です。小学校の教員5人、コンピューター関係1人、養護1人です。

エクアドル・・・と聞いて、みなさんは何か思い浮かぶことはありますか？

「エクアドル」とは、スペイン語で「赤道」という意味です。その名のとおりに、赤道直下にある国です。赤道直下にあるので、とても暑い国かというところ、アンデス山脈が中央にあるため、アンデス山脈の地域「シエラ」では、朝晩はコートが必要なくらい寒いです。（私が生活している場所は、シエラ地域です。）太平洋岸の亜熱帯低地を「コスタ」、東部のアマゾン川流域で熱帯雨林が広がる地域を「オリエンテ」と呼んでいます。太平洋上には、ガラバコス諸島があります。



## エクアドルってどんな国？それはとっても素敵な国です！！



← エクアドルの国旗です。  
アンデス山脈の上にある都市なので空がとても近く感じられます。町から郊外へ出かけると、たくさんの自然があります。 →



### <街の様子>



キリスト教徒の国なので、街にはたくさんの教会があります。私も、ホームステイ先の家族と一緒に、教会へ行っています。



市場には、たくさんの新鮮な野菜、果物、魚介類、肉、衣類等が売られています。キイチゴ、パパイヤ、ぶどう、バナナ・・・果物は、本当にどれもとってもおいしいです。フルーツジュースの種類もたくさんあります。



← バス停  
バスは大切な移動手段です。



↑ ポストは、赤ではなく、白と青色です。



↑ インガピルカの遺跡。文化や歴史を知ること大切だと思っていますので、少しずつ勉強しています。



昼食は、家に戻ってみんなで一緒に食べる家庭が多いです。昼食をたくさん食べ、夕食は軽めの食事です。



← 写真は全部を映していますが、日本のように最初から全部テーブルの上にあるのではなく、順番に出てきます。最初はスープ、次にごはん、サラダ、肉か魚(一つのお皿にのっています。),そしてジュースが一般的な昼食です。



少しは、エクアドルのことを身近に感じていただけたでしょうか。次回は、11月の予定です。

★ たくさんの人に支えられながら、エクアドルでの生活、仕事が始まりました。いつも感謝の気持ちを忘れずに進んでいきたいとの思いから、タイトルを「Gracias!」にしました。